

## 第2回住民会議 意見まとめ

平成20年(2008年)6月1日

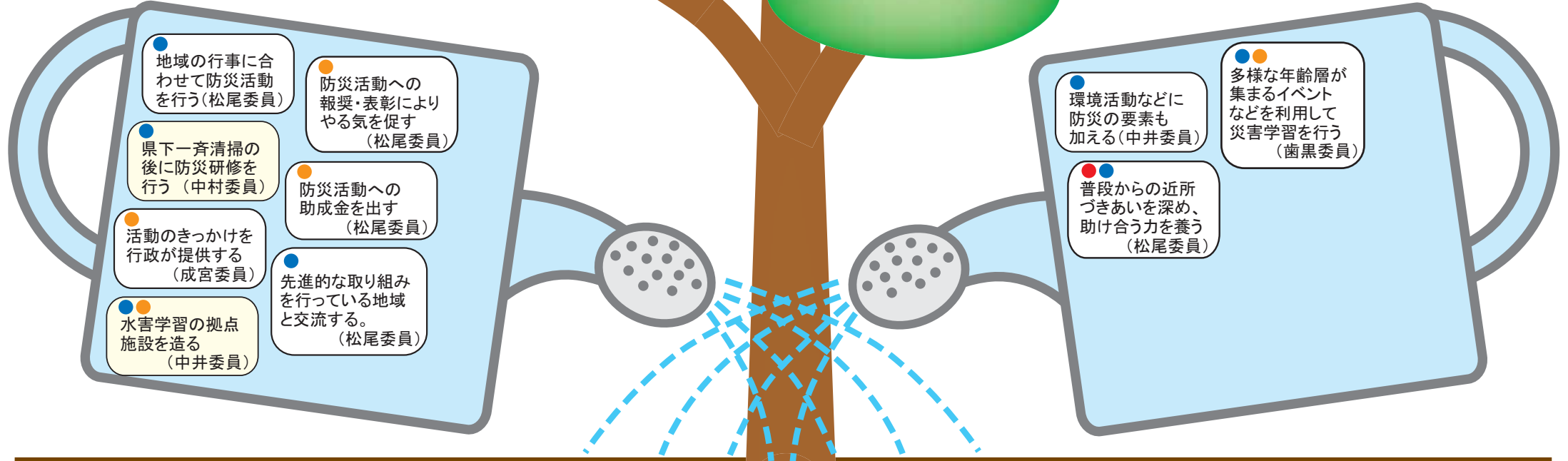
滋賀県流域治水政策室

# 地域防災力

- 自分でできる
- 地域でできる
- 行政の役割

メニューを定着・維持・発展させるための処方箋

メニューを定着・維持・発展させるための処方箋



## 地域防災力を向上させる方策（メニュー）

### ① リスク情報の発信・共有

- 洪水予報、避難判断水位情報の提供
- 水防警報の発表水防区域の公表
- 浸水想定区域図の公表
- 洪水ハザードマップの配布
- リアルタイムの雨量水位情報の発信
- 携帯電話を利用したリスク情報の発信

- 災害に関する情報の見方・使い方の周知 (松尾委員)
- 携帯電話を用いた河川管理者への現地写真の送信 (杉本委員)
- 行政ができること・できないことについての説明 (成宮委員)
- 半鐘によるリアルタイム情報の伝達 (大橋委員)
- 地域独自の避難判断の目安の共有(お地蔵さまなど) (大橋委員)
- 浸水想定表示板の設置
- 洪水位標による水害記録の伝承
- 村日記や字誌などによる水害記録の伝承

### ③ 地域防災力を支える仕組み

- 地区間で災害時に協力し合う防災協定の締結 (石津委員)
- 新興住宅地における防災組織づくり (中村委員)
- 地元企業に寄付金を募る仕組み (中村委員)
- 地元の企業が参画した自主防災組織づくり (中村委員)
- 防災活動を優先できる企業のバックアップ体制の構築 (杉本委員)
- 緊急避難のための自主避難所の選定
- 災害時要援護者のための避難所設置
- 災害時要援護者が参加した防災訓練の実施
- 災害時要援護者施設への連絡体制の整備

- 川を見回り、情報を管理するレンジャーの配置 (一般傍聴)
- 自主避難のためのルールづくり  
・浸水の目安のお地藏様  
・半鐘による伝達 (大橋委員)
- 自治会による地域の災害時要援護者などの把握 (歯黒委員)
- 家の出入り口への防災に必要な備品の設置 (大橋委員)
- 災害を考慮した家づくり (中井委員)
- 企業と連携した避難所の設置と避難訓練
- 住民自身で河川を観察し、避難を行う仕組み

### ② リスク情報の実感

- 夜間の防災訓練 (松尾委員)
- 河川改修の進捗に応じた防災活動の実施 (松尾委員)
- 自分の地域の危険箇所などを知るDIG(災害図上訓練)の実施 (中井委員)
- ハザードマップの内容等についての出前講座 (成宮委員)
- 洪水体験を思い出させるための祭の開催 (中井委員)

- 洪水ハザードマップを活用した災害訓練
- 住民協働による洪水ハザードマップづくり
- 三世代交流による水害体験の伝承
- 副読本を活用した学校での防災教育
- 小学校の授業での水害学習会
- 地域での水害学習会の開催

第2回住民会議 意見整理

(1/4)

発言者	意見要旨	区分		メニュー又は処方箋の記述	メニューが対応する課題	役割
		メニュー	処方箋			
松尾委員	普段から近所付き合いをして助け合うという力を養っていかねば駄目。			普段からの近所づきあいを深め、助け合う力を養う		住民地域
	訓練や河川改修等を検証して防災の活動をやる。			河川改修の進捗に応じた防災活動の実施	リスク情報の実感	地域
	災害に関するいろいろな情報が流されているが、使い方が伝わっていない。使い方も伝えることが大事。			災害に関する情報の見方・使い方の周知	リスク情報の発信・共有	行政
杉本委員	地域の防災活動に配慮した就業管理など、企業や団体、組織などに協力と理解を求めていくことも重要。			防災活動を優先できる企業のバックアップ体制の構築	地域防災力を支える仕組み	地域行政
	防災協力員として、携帯電話で撮影した現地写真を国交省に送っているが、こうした新しいシステムも訓練に取り入れてみては。			携帯電話を用いた河川管理者への現地写真の送信	リスク情報の発信・共有	住民
石津委員	安曇川の下流では、集落同士で防災協定を結んでおり、災害時には協力しあっている。			地区間で災害時に協力し合う防災協定の締結	地域防災力を支える仕組み	地域
中井委員	D I G（白地図を用いた災害訓練）の実施等により、災害時の対応や自分の地域の危険度を知ることも重要。			自分の地域の危険箇所などを知るDIG（災害図上訓練）の実施	リスク情報の実感	地域
	川をフィールドにした景観調査や地図づくりなどの活動の中に、防災という視点も取り入れてはどうか。			環境活動などに防災の要素も加える		地域

第2回住民会議 意見整理

(2/4)

発言者	意見要旨	区分		メニュー又は処方箋の記述	メニューが対応する課題	役割
		メニュー	処方箋			
成宮委員	行政だけでは完璧に守れないというだけでなく、ここまでは対応可能という説明も必要。			行政ができること・できないことについての説明	リスク情報の発信・共有	行政
	行政からソフト対策についてもしっかり説明する必要があると思う。出前講座なども考えてみてはどうか。			ハザードマップの内容等についての出前講座	リスク情報の実感	地域
大橋委員	勝手口に長靴や電池やヘルメットといった最小限の物を置いている。			家の出入り口への防災に必要な備品の設置	地域防災力を支える仕組み	住民
松尾委員	地域の様々な行事に防災を交えることも有効では。			地域の行事に合わせて防災活動を行う		地域
	先進的な防災活動をしている地域との交流を深めることも必要だと思う。			先進的な取り組みを行っている地域と交流する		地域
	日常のボランティア活動では、事務局の設置や資金面などに限界があるので、行政の支援も含めた検討を行う必要がある。			防災活動への助成金を出す		行政
	地域の関心を引くには、報奨制度、活動の表彰をすることも大事では。			防災活動への報奨・表彰によりやる気を促す		行政
中村委員	自分の地域では、県下一斉清掃が終わった後に消防訓練を行っている。			県下一斉清掃の後に防災研修を行う		地域
	地元企業に自主防災組織へ参加してもらってはどうか。			地元の企業が参画した自主防災組織づくり	地域防災力を支える仕組み	地域
	新興団地などでは、組織を作って参加してもらわなければならないと思う。			新興住宅地における防災組織づくり	地域防災力を支える仕組み	地域

第2回住民会議 意見整理

(3/4)

発言者	意見要旨	区分		メニュー又は処方箋の記述	メニューが対応する課題	役割
		メニュー	処方箋			
齒黒委員	水環境をテーマにしたイベントなどでは、子どもと親や祖父母など多様な年齢層の方が集まるので、このような機会を利用して、災害を伝えていければよいのではないかと思う。			多様な年齢層が集まるイベントなどを利用して災害学習を行う		地域 行政
	地域の人の様子を自治会が把握しておくことも大切だと思う。			自治会による地域の災害時要援護者などの把握	地域防災力を支える仕組み	地域
成宮委員	愛知川には、災害への安全祈願のお宮があり、地域の法人からも住人として寄付金を募っている。			地元企業に寄付金を募る仕組み	地域防災力を支える仕組み	地域
	本来、防災も地域の文化ではないかと思うが、こうしたことをするきっかけがなくなってきたと思う。自助を促すための公助があってほしい。			活動のきっかけを行政が提供する		行政
中井委員	郷里の福知山では“堤防祭り”を実施し、浸水被害を思い出すきっかけとしている。			洪水体験を思い出させるための祭の開催	リスク情報の実感	地域
	国交省の支援も受けて、古い民家を利用した「治水記念館」を作り、子どもたちの教育施設としている。			水害学習の拠点施設を造る		行政 地域
	家づくりにも防災の視点を入れていく必要がある。			災害を考慮した家づくり	地域防災力を支える仕組み	住民

第2回住民会議 意見整理

(4/4)

発言者	意見要旨	区分		メニュー又は処方箋の記述	メニューが対応する課題	役割
		メニュー	処方箋			
大橋委員	川の近くにお地藏さんがあって、お地藏さんの水のつかり具合で地域の人が危険度を判断している。			<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域独自の避難判断の目安の共有（お地藏さまなど）</li> <li>・自主避難のためのルールづくり</li> </ul>	リスク情報の発信・共有 地域防災力を支える仕組み	地域
	警報発令や危険時に半鐘を打って地域に知らせている。			<ul style="list-style-type: none"> <li>・半鐘によるリアルタイム情報の伝達</li> <li>・自主避難のためのルールづくり</li> </ul>	リスク情報の発信・共有 地域防災力を支える仕組み	地域
松尾委員	災害はいつ起きるかわからないので、夜の防災訓練も必要では。			夜間の防災訓練	リスク情報の実感	地域
一般傍聴 意見	各河川を見廻るレンジャーのような人を決めるということはいかないか。			川を見回り、情報を管理するレンジャーの配置	地域防災力を支える仕組み	地域

## 各課題に対するメニューと処方箋

:自分でできる    :地域でできる    :行政の役割

課 題	地域防災力を向上させる方策(メニュー)	役割
リスク情報の発信・共有	携帯電話を用いた河川管理者への現地写真の送信 (杉本委員)	
	半鐘によるリアルタイム情報の伝達 (大橋委員)	
	地域独自の避難判断の目安の共有(お地蔵さまなど) (大橋委員)	
	村日記や字誌などによる水害記録の伝承	
	浸水想定表示板の設置	
	洪水水位標による水害記録の伝承	
	洪水予報, 避難判断水位情報の提供	
	水防警報の発表, 水防区域の公表	
	浸水想定区域図の公表	
	洪水ハザードマップの配布	
	リアルタイムの雨量水位情報の発信	
	携帯電話を利用したリスク情報の発信	
	災害に関する情報の見方・使い方の周知 (松尾委員)	
	行政ができること・できないことについての説明 (成宮委員)	
リスク情報の実感	河川改修の進捗に応じた防災活動の実施 (松尾委員)	
	夜間の防災訓練 (松尾委員)	
	自分の地域の危険箇所などを知るDIG(災害図上訓練) の実施 (中井委員)	
	洪水ハザードマップを活用した災害訓練	
	住民協働による洪水ハザードマップづくり	
	三世代交流による水害体験の伝承	
	地域での水害学習会の開催	
	小学校の授業での水害学習会	
	副読本を活用した学校での防災教育	
	洪水体験を思い出させるための祭の開催 (中井委員)	
ハザードマップの内容等についての出前講座 (成宮委員)		
地域防災力を支えるための仕組み	自主避難のためのルールづくり ・浸水の目安のお地蔵様    ・半鐘による伝達 (大橋委員)	
	緊急避難のための自主避難所の選定	
	川を見回り、情報を管理するレンジャーの配置 (一般傍聴意見)	
	住民自身で河川を観察し、避難を行う仕組み	
	新興住宅地における防災組織づくり (中村委員)	
	地元の企業が参画した自主防災組織づくり (中村委員)	
	企業と連携した避難所の設置と避難訓練	
	地元企業に寄付金を募る仕組み (中村委員)	
	防災活動を優先できる企業のバックアップ体制の構築 (杉本委員)	
	地区間で災害時に協力し合う防災協定の締結 (石津委員)	
	自治会による地域の災害時要援護者などの把握 (齒黒委員)	
	災害時要援護者のための避難所設置	
	災害時要援護者が参加した防災訓練の実施	
	災害時要援護者施設への連絡体制の整備	
	災害を考慮した家づくり (中井委員)	
家の出入り口への防災に必要な備品の設置 (大橋委員)		

メニューを定着・維持・発展させるための処方箋	役割
・防災活動への報奨・表彰によりやる気を促す (松尾委員)	
・防災活動への助成金を出す (松尾委員)	
・地域の行事に合わせて防災活動を行う (松尾委員)	
・県下一斉清掃の後に防災研修を行う (中村委員)	
・活動のきっかけを行政が提供する (成宮委員)	
・水害学習の拠点施設を造る (中井委員)	
・環境活動などに防災の要素も加える(中井委員)	
・普段からの近所づきあいを深め、助け合う力を養う (松尾委員)	
・多様な年齢層が集まるイベントなどを利用して 災害学習を行う (齒黒委員)	
・先進的な取り組みを行っている地域と交流する。 (松尾委員)	

■ は、実際に県内で事例があるもの